

ケアマネジャーについて ～ 介護支援専門員と相談支援専門員の違い ～

今月

は 社会福祉士 畑山 賢二 です



近年、よく耳にするようになってきた「ケアマネジャー」。その役割は、社会的ケアを必要とする人に対して「自立支援」や「生活の質の向上」を基本に、もっとも効果的でかつ効率的なサービス（社会資源）を調整して、より適切なケアを提供することを業とした専門職です。

●ケアマネジャーの違い●

介護支援専門員



介護保険制度に基づくサービスを利用する場合に支援する人

相談支援専門員



障害福祉制度に基づくサービスを利用する場合に支援する人

●ケアマネジャーのサービス内容●

1

支援を必要としている方の自宅を訪問して不安や希望を聞きながら、現在の本人（利用者）の状況や環境などを個人情報保護に配慮しながら詳しく確認します。

2

本人の心身の状況や生活環境に応じた適切なサービスを利用できるように計画書（ケアプラン）を作成します。

3

サービス事業者（ヘルパーサービスなど）や施設（老人ホームや障害者施設など）、その他の関係者（病院など）と連携してサービスを受けるための調整を行います。

4

サービス利用前に本人への支援を確認するため、自宅で関係者と役割分担などの話し合い（サービス担当者会議）を行います。

5

必要に応じて自宅を訪問し、適切にサービスが受けられているか、その他の不安や困りごとが生じていないかなどについて本人や家族などと話し合いをします。また本人の状態や環境、その他家族の事情の変化なども確認します。

6

定期的に現在利用しているサービスが適切かなどの評価と、今後についての話し合いのため、上記④の話し合い（会議）を実施していきます。

7

いよいよ在宅生活が限界になった場合には、施設などと調整し入所などの支援を行います。

8

その他、在宅生活におけるさまざまな相談を受けて、解決に向けて本人や家族などと一緒に考えていきます。

●サービスを利用する際の留意点●

上記のとおり、制度によって担当するケアマネジャーは違います。また、その状況によって“利用する優先順位”もありますので、不明な点は気軽に相談してください。